

新共謀罪を廃案へ!

2017年6月12日
No.474

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

京大同学会選挙 さくべ候補者団が信任!



5月29日~6月9日の京大同学会中執予備選挙の結果、新執行部(委員長—作部羊平くん、副委員長—安田淳敏くん、書記長—阿津良典くん)が樹立しました。京大当局が作部くんら4人に退学処分をちらつかせ、学生に対しては「告示第7号」で「選挙にかかわってはならない」と恫喝をかける中、「総投票数」も「信任率」も昨年度を上回り(総投票数803票→919票、信任率51%→57%)、見事な勝利を収めることができました。応援して下さいましたみなさん、本当にありがとうございました。

重要だったのは、選挙に先立つ5月20日の代議員会(全学自治会の最高意思決定機関)で、1回生、上回生

(院生)と徹底討論したこと。そしてそこでの討議に踏まえ、「国や大企業による私物化ゆるさん みんなで決める、自治復活!」を、さくべ候補者団のメインテーマに掲げたことです。

いま京大では学生処分や自治破壊のみならず、軍事研究・米軍マネー流入問題、管理教育強化の問題、学費・奨学金問題など様々な課題があり、怒りの声はどんどん広がっています。この状況に対し、単に個別問題の解決を訴えるのではなく、誰が本当の黒幕(交渉相手)かをはっきりさせ、大学のみならず社会をも変革する性質をもった自治会運動をつくっていく大事さが、代議員会の討論で確認されました。そして、それ

に向かって同学会運動に積極的に関わる学生をいかに増やすか、社会的な連帯をどう広げるか、積極的に議論されました。

この代議員会の成功を受けて行われた選挙は巨大な大衆運動となりました。選挙管理委員になり、投票を呼びかける側に立つ1回生、上回生が次々現われました。また昼休み作部くんの演説を弾圧しビデオ撮影を続ける職員に対し、その職員を取り巻く学生がどんどん増え、キャンパスに大きな力関係ができました。また「今の京大はおかしい」と一緒に抗議に立ち上がってくださる教員も！ このように自ら考え、行動に立ちあがった多くの人の力が合わさって大きな運動に転じたのが今回の選挙でした。

こうした学生決起の背景には、副委員長に立候補した安田くんの存在があったことは間違いありません。

「4学生を退学にしても、次々と学生は立ち上がることを証明する」「大学は人材を生産する場ではなく、人間を磨く場だ。権力づくで動く10人より、決断した1人の方がよっぽど強い」—そう訴え、新たに副委員長に立候補した安田くんの登場に、多くの学生が足を止め、ビラを受け取り、拍手をしてくれました。次ぎを担う若きリーダーの登場に心を動かされ、多くの学生が応えてくれたのです。

さて、同学会新執行部は学生の団結を強く打ちたてた選挙の勝利をひっさげ、来週から共謀罪粉碎の国会前闘争に決起します。すべての職場・キャンパスに労働組合・学生自治会を強力に打ちたて、共謀罪を迎え撃っていきましょう。（京大A）



つぶせ共謀罪！
6・11 銀座デモ
打ち抜く！

